



# 日刊 千葉労働

国鉄千葉動力車労働組合

〒260 千葉市中央区要町2番8号 (動力車会館)  
電話 (鉄電) 千葉 2935・2939 番  
(公) 043 (222) 7207 番

98.10.21 No. 4864

## 11.8へ 根こそぎ結集へ!

# 示そう 千葉労働の団結力を!

### 98年の全成果を11.8へ

## 広範な労働者と噛み合い 響きあう時を迎えた!

### ― 数は力なり ―

11・8全国労働者総決起集会は、わが動労千葉と共に、”西の闘う労働組合の拠点である全金港合同と関西生コン支部の三組合が呼びかける画期的な総決起としてかちとられようとしている。ついに、われわれが呼びかけてきたことが広範な労働者の気持ちと噛み合い響きあいながら、闘う労働組合の大同団結にむかって力強く動きはじめたのである。この機を逃がしてはならない。全支部根こそぎの結集を―集会をその先頭で担おうではないか。

いざという時に底力を発揮するのが動労千葉の良き伝統であり、力の源泉である。確かに今物販オルグのまっ最中であり、三日の団結祭等課題が重なりながら進行するという厳しい状況下での大結集闘争である。だが正念場を迎えた国鉄闘争の勝利をもぎとるためにも、この”試練”は避けて通れない。これにたちむかい、JR当局、JR総連革マルに動労千葉の結集力・団結力をはつきりと示そうではないか。

### 恒常的スト体制に 魂を吹き込もう

第二六回大会で、正念場を迎えた国鉄闘争の勝利と、時代を変革する闘う労働運動の新しい潮流の発展をたたかいてとることを決定した。その第一の課題は、

れた闘う側の危機を打破し、新たな国鉄闘争支援陣形、千四十七名の長期闘争体制をがっちり組み立てること。  
そして恒常的ストライキ体制を堅持し、強制配転された仲間を原職復帰、JR結託体制打倒の一大攻勢に立ち上がることである。"11・8"総決起をもつて、この闘う方針に魂を吹き込もう!

五・二八反動判決を弾劾し、千四十七名(動労千葉十二名)の解雇撤回闘争の勝利をなしながら、九七年の公労法解雇全面撤回の勝利を土台として、"11・8"の大成功を突破口に、国労大会に示さ

当局もJR総連革マルも、動労千葉の結集力に最大注目し、何かと妨害を強めようとしている。われわれの答えは、こうした反動をうち破り、かけ値なしに動労千葉一五〇名の結集を実現することである。

### 総反乱の”抑圧体” 連合支配に風穴を 労働戦線の地図をぬり かえる三組合の共同決起

大失業攻撃の激化の中で、危機感や怒りは急速に広がっている。特に労働者の団結権を踏みにじり、労働委員会制度を完全に否定する五・二八反動判決への危機感と怒りはさまざまにもある。にもかかわらず広範な労働者の闘いが未だ巻き起こっていないのは、怒りや闘いの高揚を抑え込んでしまう仕組みが

組みの根幹にあるのが連合の存在である。連合は労働者の団結や意識を解体し、怒りが噴きだす水路を封じる最大の”役割”をはたしている。だから、この連合支配を揺るがし、くい破ったとき闘いは間違いなく大きな高揚を開始する。この高揚の中でこそ国鉄闘争の真の勝利も実現するのである。"11・8"三組合の共同決起は、労働戦線の地図をぬりかえる偉大な一歩であり、それを”たたかう労働組合の全国ネットワーク”へと大きく発展させなければならない。動労千葉が分離独立以来、血と汗を流しつちかかってきた団結力をこころ一番発揮しよう。全力で集会の成功をかちとろう。

**たたかう労働組合の  
全国ネットワークを  
つくろう!**

- 5.28反動判決運動! 国鉄闘争勝利! 労働委員会制度の解体を許すな!
- 労働基準法・労働者派遣法・労働法制の全面改正阻止!
- 労働組合を自己破壊団! 成りすまぬ組合反対!
- 新安保ガイドライン反対!
- 「百万人署名運動」を成功させよう!

## 11.8 全国労働者総決起集会

●日比谷野外音楽堂 ●正午開会

### 指定列車

#### 【第一陣】

千葉駅7番線発 10時34分 快速列車(1094F) 最後部

#### 【第二陣】

千葉駅8番線発 12時26分 快速列車(1240F) 最後部